

篠山東雲高等学校



学校紹介の動画を掲載中

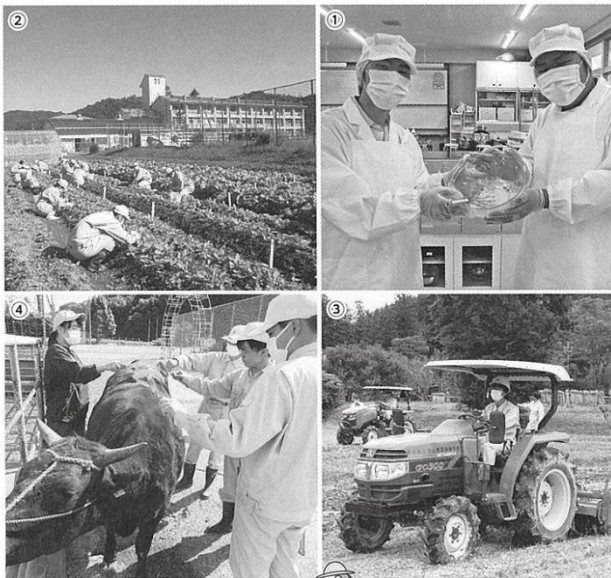
おいでよわが校へ！
一緒に思い出を作ろう



2年・さん

篠山東雲高校の一番の魅力は先生が親身になって接してくださることです。例えば、勉強面では先生一人に対して、少人数で教えてもらうことができます。他校では先生一人当たりの生徒数は10人程度ですが、篠山東雲高校では3.5人です。そのため、一人ひとりに合った指導をしてもらえることや、分からないところはすぐに質問ができることなどのメリットがあります。部活動では、全校生徒が少ない分、一年生からレギュラーとして活躍することができます。

先生が熱心に教えてくださるので、親ほくも深められ、とてもやりがいがあります。また、篠山東雲高校では先輩と後輩の仲がとても良いです。昼休みには学年関係なくお弁当を食べたり、放課後は農場当番、部活動など、さまざまな場面で、学年を越えた交流をしたりしています。農業についても、野菜・畜産・食品と幅広い分野から選択し、専攻することができるので、進路選択の幅も広がり、本当にやりたいことを見つけ出すことができます。



- ① マヨネーズの製造
- ② 大根の追肥
- ③ トラクタ実習
- ④ 家畜動物の健康調査



卒業生の声

卒業生に聞く！東雲高等学校で学ぶ意義



さん
〔高校教諭〕
(2017年卒業)

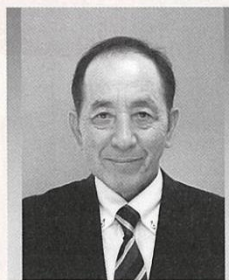
篠山東雲高校で学ぶ「農業」において、黒大豆やヤマノイモなど地域の特産物について学んだり、ボランティア活動を通して、地域の方々と交流したりする機会がありました。そのような学習が地元「丹波篠山」に対して愛着が芽生えるきっかけになったと感じています。

高校卒業後に地元を離れたことで、地元の温かさや篠山に対する愛着を再認識することができました。

東雲高校で農業を学ぶと同時に、地元「丹波篠山」についてもより深く知る機会にしてもらえたらと思います。

広報「丹波篠山」

12月号



さん
〔丹波篠山市社会福祉協議会会長〕
(1973年卒業)

当時の篠山産業高校東雲分校を1973年に卒業しました。

2011年に農都篠山で「農業教育を通じた地域を支える心豊かな人材育成」を目的に篠山東雲高校として独立開校され、丹波篠山の特産振興や東日本大震災の被災地支援などのさまざまな活動は卒業生として誇りに思います。

思い返せば、市役所で長らく福祉行政に携わってきた私の思いやりや寄り添いの心の源流は、同校での養豚実習で経験した出産と子豚の養育の機会でありました。故郷丹波篠山を愛し、地域を支える人材として期待しています。